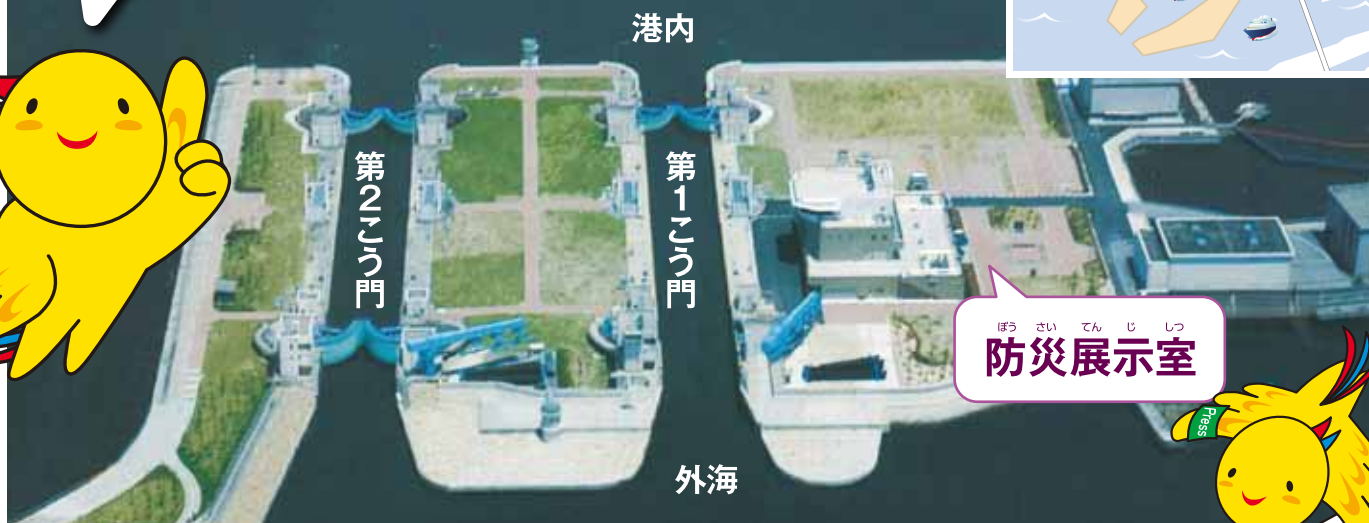


もっと
知りたい!

あま あまがさき もん
尼ロック(尼崎こう門)
しゅう ちゅう
集中コントロールセンター
ぼう さい てん じ しつ
「防災展示室」



ぼう さい てん じ しつ
防災展示室

あま
尼ロックって何?

あまがさき もん あいしゅう あま
尼崎こう門(愛称「尼ロック」)は、日本で最初のこう門式防潮堤として昭和30年につくられ(旧第1こう門)、その10年後には通航量が増加したため、2つ目のこう門がつくられました(旧第2こう門)。現在のこう門は、それらが老朽化したことや、耐震性などの問題を解決するために新しく作りかえられたものです。第2こう門が平成6年に、第1こう門が平成14年にそれぞれ新しくなっています。また、平成17年には、こう門に隣接して集中コントロールセンターが完成しました。ここには、こう門の操作のほか、防潮門扉の開閉状況や水位情報の把握、豪雨や高潮時の排水ポンプや水門の遠隔操作・監視など、臨海部の防災拠点となるさまざまな機能が設けられています。

ぼう さい てん じ しつ がい ぼう
防災展示室の概要

集中コントロールセンター1階にあるこの防災展示室は、4つのゾーン(「ガイダンスゾーン」・「海岸防災ゾーン」・「津波を知り備えるゾーン」・「防災アーカイブゾーン」)で構成されており、災害から暮らしを守る工夫など、体験を通じて楽しく学べるようになっています。

みんなで
見学しよう!



ひょうご けん はんしんなんけん かん
問い合わせ先: 兵庫県 阪神南県民センター 尼崎港管理事務所 電話06-6412-1361

学校名	年	氏名
	組	

し ぜん さい がい いのち まも
自然災害から命を守るために

し
知ろう!

かんが
考えよう!

に
逃げよう!



この本を使って、
住んでいる地域の災害の特徴や、
日頃からできる災害への備えについて
学びましょう。



兵庫県マスコットキャラクター
はばたん

この本を読む目的

最近、テレビなどで災害についての報道が多く見られると思います。
平成7年1月17日午前5時46分。阪神・淡路大震災においては、震度7の
はげしいゆれにより、尼崎市・西宮市・芦屋市のたくさんの人の命や家が失われ
ました。

また、平成23年3月11日の東日本大震災では、大変な被害があったことは
まだ、みなさんの記憶に新しい出来事だと思います。

こうした災害は、自然の力が働いて引き起こされており、私たち人間の
力だけで防ぐことは、とても難しいことがわかってきました。特に私たちが
住んでいる地域は山・川・海など自然からの影響を受けやすい所です。

そこで、こうした災害からみなさんの身を守るためにはどうしたら良いのか
を知ってもらうためにこの本を作りました。

この本で学んだことを活かして、安全・安心に暮らしましょう。

自然災害について

知ろう!

自然災害って何? 3

洪水 5

内水はん濫 9

土砂災害 11

津波 13

高潮 15

情報入手手段を
知ろう 17 18

自然災害時に
どうするべきか

考えよう!

被害を減らすために
日頃からできること 19

マイハザードマップを
実際に作ってみよう 19

非常持ち出し品リストを
チェックしよう 20

自然災害から

逃げよう!

「逃げる」十か条 21

こんな時は
逃げよう! 21 22



自然災害について 知ろう!

自然災害って何?

自然災害とは、大雨や台風、地震など、自然の力が引き起こす災害のことをいいます。

この自然災害には、「洪水」「内水はん濫」「土砂災害」「津波」「高潮」があります。

阪神南部地域はこんなところだよ

私たちが住んでいる阪神南部地域(尼崎市、西宮市、芦屋市)は、海側には海拔ゼロメートル地帯といって、土地の高さが低いところが広がっており、西宮市や芦屋市の北側には、六甲山の山々があります。

中央部には武庫川が、東部には猪名川が流れ、これらの河川は大阪湾に注いでいます。

このような阪神南部地域の特徴から、土地の高さが低いところでは、洪水や津波、高潮などの水害の危険について、六甲山に近いところでは土砂災害の危険について、日頃から学んでおく必要があります。



阪神南部地域での災害の危険性



か こ はっ せい
過去に発生した
し ぜん さい がい よう す み
自然災害の様子を見てみよう。

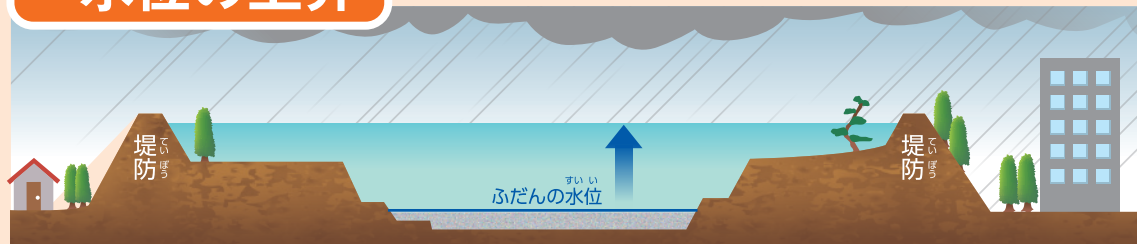
こう ずい
洪水

● 洪水のメカニズム

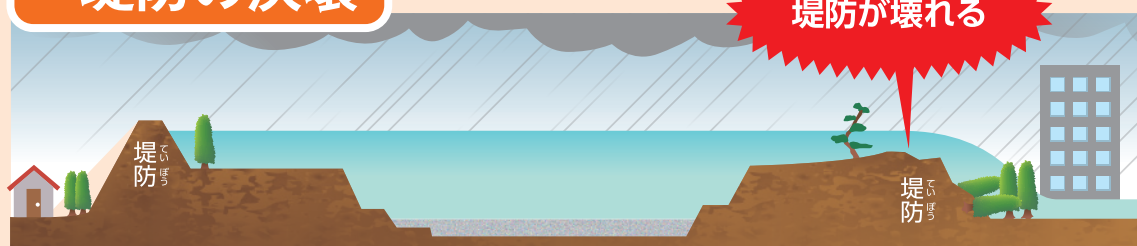
大雨によって水が増え、川の水面が高くなります。

川の水が増え続けて、川の水が堤防をこえたり、堤防が侵食されて堤防がこわれ、川の水がまちへ流れ込みます。

● 水位の上昇



● 堤防の決壊



し ぜん さい がい
自然災害について

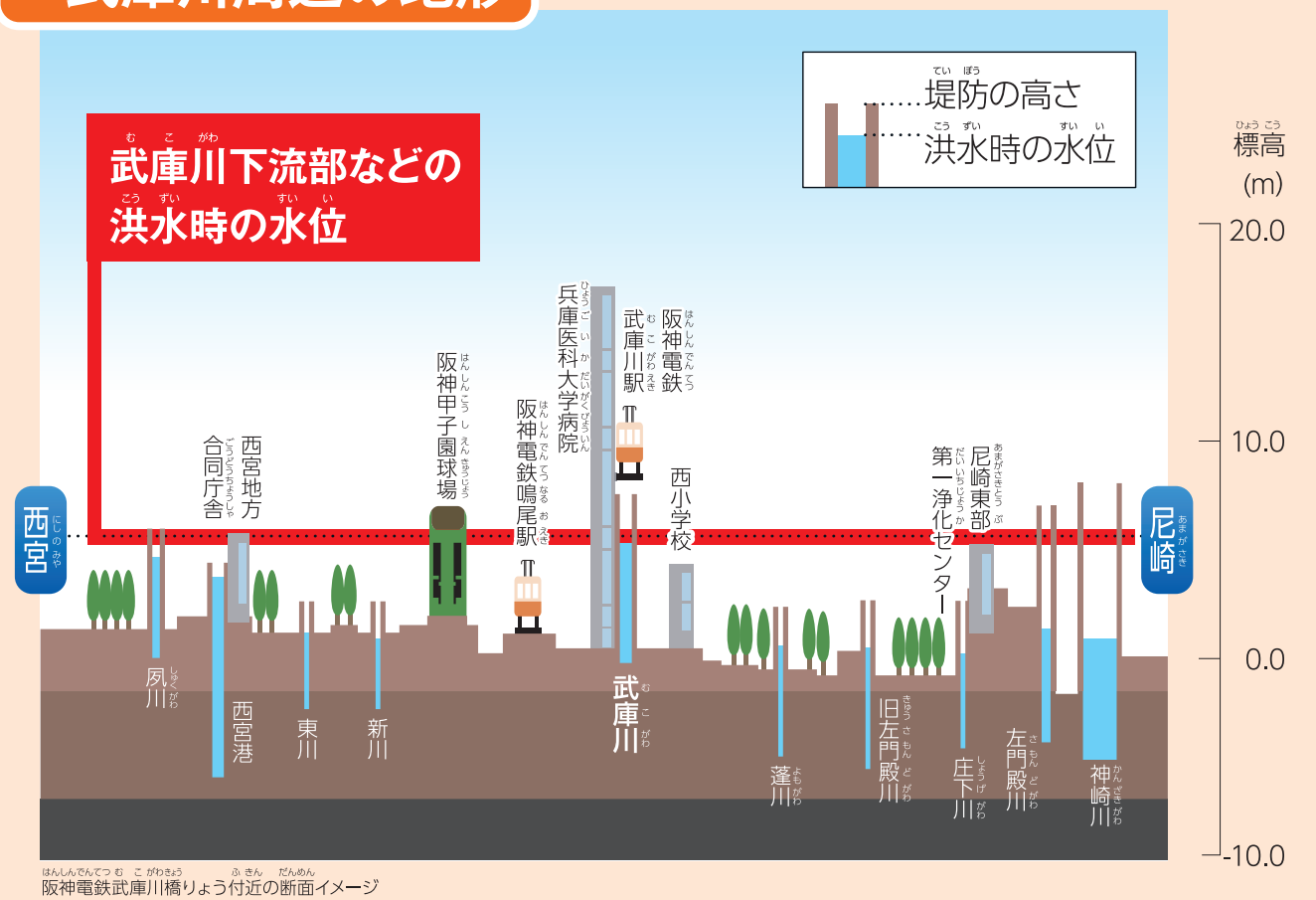
し
知ろう!



● 阪神南部地域では…

尼崎市や西宮市を流れる武庫川下流部などは、堤防により洪水を防ぐ形となっているため、ひとたび堤防がこわれると大きな被害が考えられます。

● 武庫川周辺の地形



過去の主な洪水発生状況

洪水

尼崎市域では...

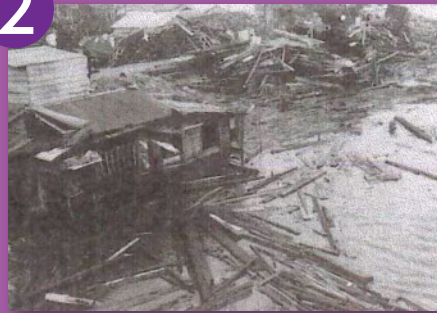
尼崎市では、むかし、昭和25年のジェーン台風や昭和36年の第2室戸台風、昭和58年台風10号などにより、まちが浸水しました。

1



昭和25年ジェーン台風
阪神逢川鉄橋西
尼崎市逢川町付近

2



昭和36年第2室戸台風
神崎川と猪名川の合流点である
戸ノ内付近

写真出典:兵庫県地域の風水害対策情報ホームページ

西宮市域では...

西宮市では、昭和58年台風10号や平成16年台風23号などにより、まちが浸水しました。

3



昭和58年台風10号
阪神電鉄武庫川橋りょう付近

4



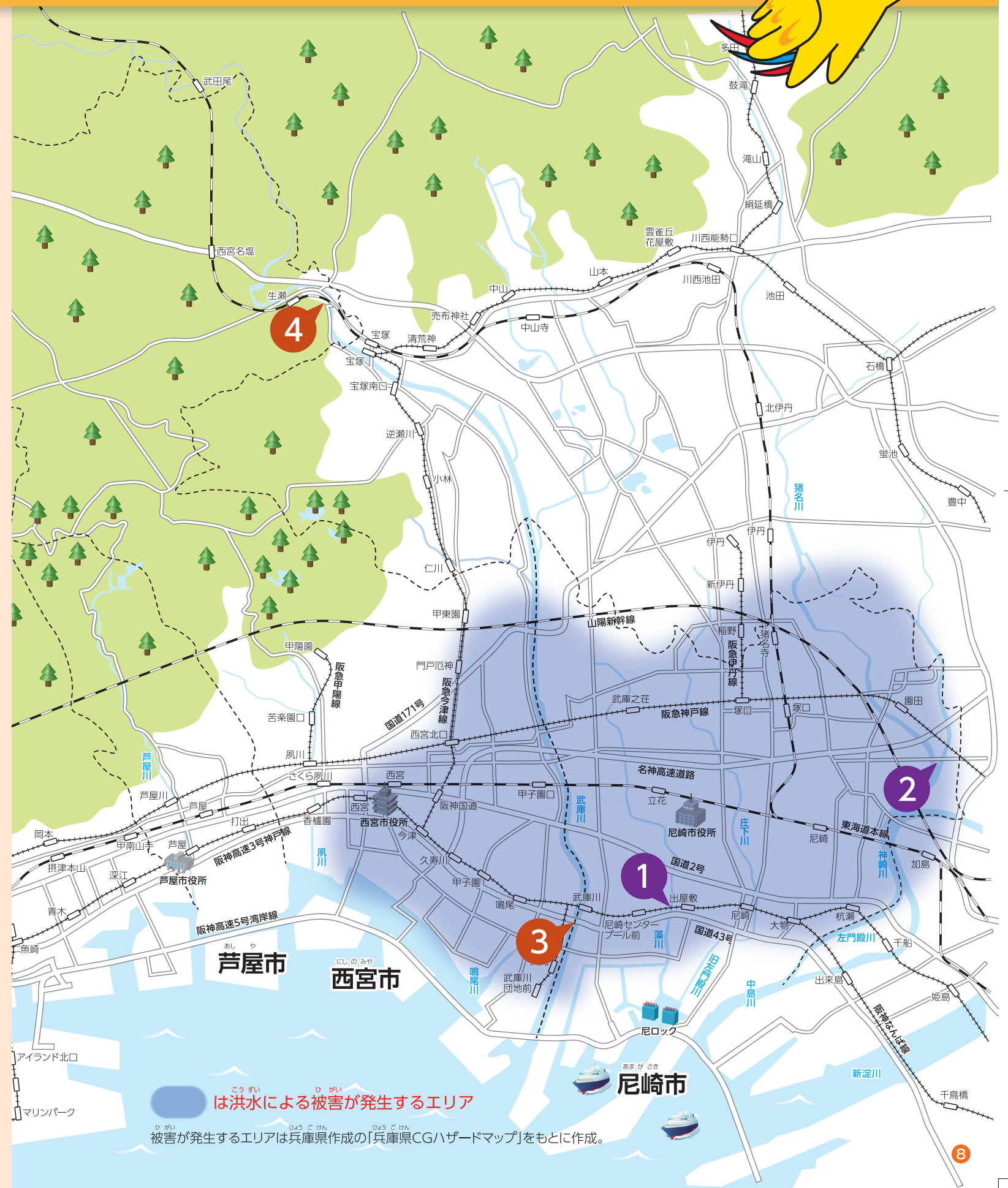
平成16年台風23号
武庫川生瀬橋付近

写真出典:武庫川水系河川整備計画(昭和58年台風10号)

写真出典:兵庫県地域の風水害対策情報ホームページ

自然災害について

知ろう!



か こ はっ せい
過去に発生した
し ぜん さい がい よう す み
自然災害の様子を見てみよう。

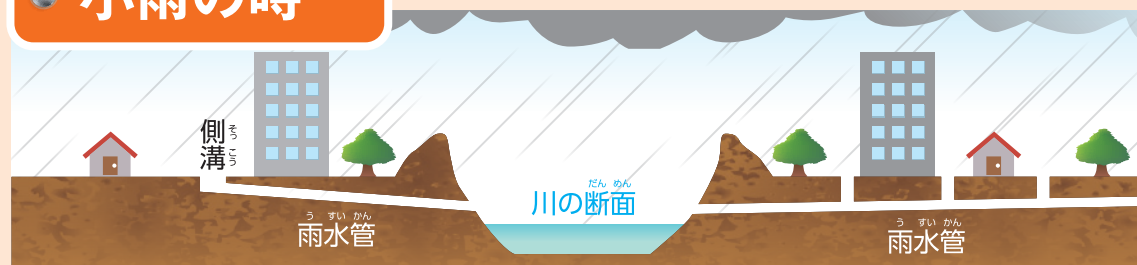
内水はん濫

●内水はん濫のメカニズム

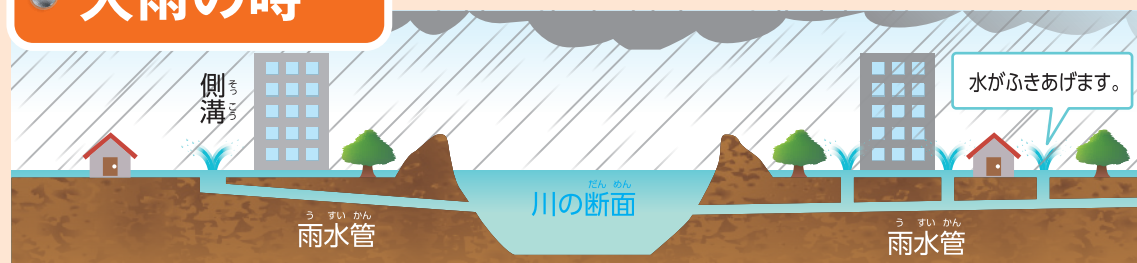
内水はん濫はまちのどこでも起こる可能性があります。

大雨で川の水の量が増えたりして、雨水管が雨水でいっぱいになります。すると、川へ排水しきれなくなった雨水が、マンホールや側溝などからあふれ出し、まちが水浸しになります。河川から水があふれ、はん濫する洪水とはちがいます。

●小雨の時



●大雨の時



し ぜん さい がい
自然災害について

知ろう!



●過去の主な内水はん濫発生状況

●マンホールからの水のふきあげの様子



写真出典:日本河川協会「水害レポート2003」

身近な水路からあふれたりします。

あまがさき へい せい
尼崎市では、平成24年に内水はん濫がおり、まちが浸水しました。



へい せい
平成24年内水はん濫
あまがさき 市 道 意 町 付 近
尼崎市道意町付近

写真出典:尼ロック展示物